

推進項目と施策内容等

基本方針	推進項目	期待される効果	施策内容	具体的な取り組み例
1. 行政業務の効率化	1-1. 行政手続きの利便性向上と窓口業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 時間や場所を選ばない手続きの実現 窓口業務の省力化と待ち時間解消 	<ul style="list-style-type: none"> 行政手続きのオンライン化 マイナンバーカードの利活用 コンビニでの各種証明書交付の推進 窓口機能の充実と開庁時間変更 夜間電話対応の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン申請の拡充 LINEデジタル役場の導入 コンビニ交付サービス利用 スマホ教室・相談の開催
	1-2. 公金取扱業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 迅速、正確な公金処理 コスト削減 	<ul style="list-style-type: none"> 公金徴収・支払方法のDX化 コンビニ公金納付の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 公金キャッシュレスeL-QRの利用拡大 窓口キャッシュレス決済端末導入 パーチェシングカードの活用
	1-3. 事務処理の効率化と意思決定の迅速化	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な情報共有とペーパーレス化 業務の属人化解消 迅速な行政判断 	<ul style="list-style-type: none"> クラウドベース情報連携基盤の活用 行政システムの標準化 生成AIの活用 業務プロセスの見直し（BPR等） 電子契約、決裁等の導入 執務環境の改善 	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft 365の導入 総合行政システム標準化/SaaS化検討 RPA-AI導入業務拡大 生成AI活用ロードマップの作成 電子決裁・文書管理システム導入検討 庁舎への冷房設備整備検討
	1-4. 業務の選択と集中及び外部活力の活用	<ul style="list-style-type: none"> 行政資源の重点分野への集中 専門性、効率性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 事務事業の評価・見直し 民間委託の積極的な推進 	<ul style="list-style-type: none"> 行政評価、事業改善シートの活用 水道窓口業務、放課後児童クラブの外部委託
2. 縮小社会への対応	2-1. 自治会・地域団体の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> 役員負担の軽減 持続可能な地域コミュニティ活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 定期配布物の配布のあり方検討 統合自治会への支援策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌の電子化・置き配検討 統合単位自治会への助成メニュー新設
	2-2. 持続可能な行政運営を支える組織・人材確保の強化	<ul style="list-style-type: none"> 変化に対応できる組織体制の構築 戦略的な人材の確保・育成 	<ul style="list-style-type: none"> 組織再編、定員適正化の検討 人事・給与制度改革 採用活動の多様化 研修制度の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 人事給与制度改革実行プラン策定検討 広域公募、通年募集、退職者再雇用、中途採用の強化、専門職支援制度拡大 他組織との連携研修
	2-3. 多様な人材の活躍による地域活力の維持	<ul style="list-style-type: none"> 行政外の多様な人材による地域課題解決の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な外部人材制度の活用 官民連携による受入推進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊、地域活性化起業人 関係人口、副業人材等の受入推進

	2-4. 広域行政の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・スケールメリットを活かした質の高い行政サービス維持・効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、廃棄物処理、上下水道事業等における広域連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防指令の共同運用 ・運動文化施設等の広域利用や広域的運営委託の推進
3. 公共インフラの効率的な維持管理と長寿命化	3-1. 公共施設の統合と機能の最適化	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の利便性向上 ・維持管理コストの軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、保育所、社会福祉施設、公園等の再編・集約化、機能分化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校再編基本計画（仮）等の策定 ・都市公園等整備計画（仮）等の策定
	3-2. 計画的なインフラの更新・長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルコストの縮減 ・財政負担の平準化 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別施設計画に基づく計画的な維持更新の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅、病院、廃棄物施設、上下水道施設等の長寿命化計画の推進 ・職員住宅・教員住宅等の管理計画再編
	3-3. 民間活力の導入による維持管理の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・管理業務の省力化、効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度や包括施設管理業務委託等の活用・研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の一括指定管理や給食センターの運営委託 ・公営住宅等公共施設の管理委託検討 ・包括施設管理委託の研究
4. 健全な財政運営	4-1. 独自財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・町の活性化につながる独自の投資財源の確保 ・町民以外の受益者への応分負担の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人版・企業版ふるさと納税の安定的な確保 ・新たな財源確保手法の導入研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・トップセールス強化 ・中間代理事業者等との連携 ・法定外目的税（宿泊税等）、協力金等の研究
	4-2. 受益と負担の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能なサービス提供を可能とするための料金設定 ・公平性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・全庁的な手数料・使用料の点検・見直し ・支払い方法等に応じた料金設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設、上下水道料金等見直し ・キャッシュレス決済等に応じた料金設定
	4-3. 資金の効果的運用	<ul style="list-style-type: none"> ・財源の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な視点に立った計画的な投資の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・交付金・起債活用を前提とした中期計画の策定